

発掘ニュース

第 5 号

昭和 57 年 12 月 10 日

発行 財団法人 いわき市教育文化事業団

龍門寺遺跡

龍門寺遺跡発掘調査は着実に成果をあげております。なかでも、いわき地方初の古墳時代前期初頭の竪穴住居跡が2棟検出され、古墳時代前期における集落跡の一端にあたることわかりました。また、すでに検出されていた古墳のほかにも円形周溝(墓跡)3基がみつかったことで、古墳時代後期の墓域であることも判りました。これらの重要な遺構は、縄文あるいは弥生時代の文化層を壊して構築されており、今後調査が進行すれば、その形はなくなってしまう。

さる12月5日に開催した現地説明会のときに『どうして住居跡(うちのあと)や柱穴(はしらのあと)がわかるのですか』という質問が多くありましたので、今回は、本遺跡から検出された竪穴住居跡を紹介し、この住居跡が発掘されるまでの経過を図化して掲載しました。また、奈良県宮山古墳の埴輪から古墳時代の家のような姿を理解していただけるものと思います。

とじておきましよう



龍門寺遺跡現地説明会(12月5日)



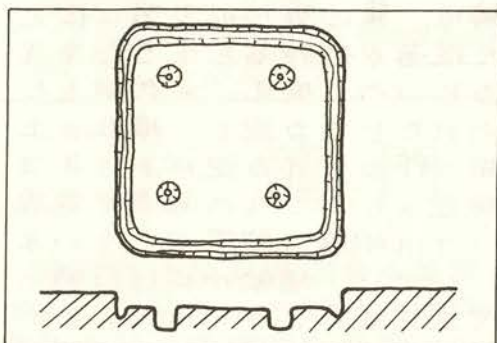
龍門寺遺跡 第1号竪穴住居跡

古墳時代の住居

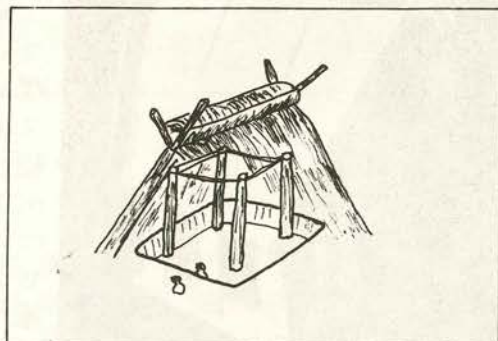
古墳時代になると、弥生時代以来引き継がれた竪穴式住居の他に、新しく高床や平地式の住居も出現したことが、古墳から出土する『冢形埴輪』から知ることが出来ます。平面形は、円形から方形のものに統一される。前・中期には住居の中央に炉を設けていたのが、後期になると壁の一边にカマドを造り付ける手法がとられ、奈良・平安時代までこの形態が続きます。

遺跡南東のH-5グリッドより検出された住居跡で、南に向って低くなる緩斜面の地山を掘り込んでいる。規模は、床面が東西5.9m、南北5.3m、北壁の深さ0.4mを測る。炉やカマド、貯蔵穴などの付属施設はまだ検出されていない。遺物は、北壁の西側と中央東側に集中しており、土師器高杯、S字状口縁甕、口唇部に刻目をつけた壺などがある。これらは、土師器の編年でいう「五領式」期のもので、その中でも古い4世紀中葉の土器である。このことから住居跡は、古墳時代前期に位置づけられよう。

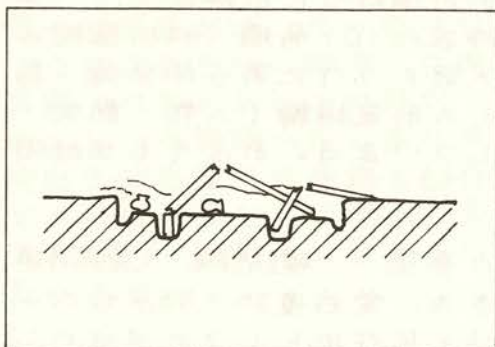
— 竪穴住居が発掘されるまで —



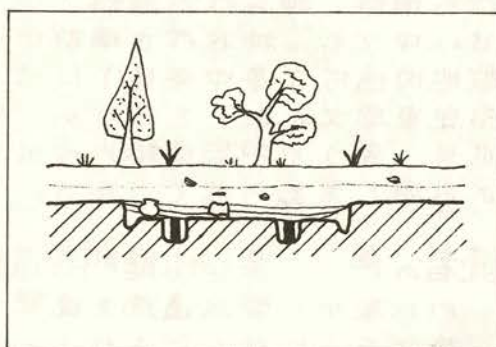
1 地山を四角形に掘り込み柱を立てる穴を掘る。(各時代毎で形は異なる。)



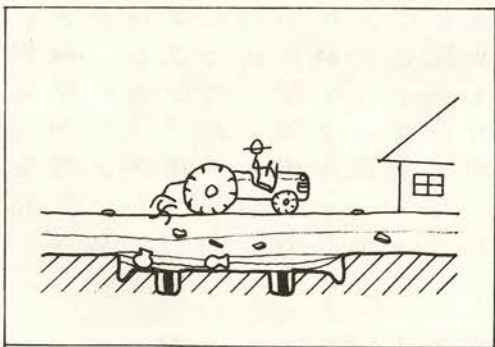
2 数本の柱を立てて主体とし、竪穴の周囲を樹木の枝や枯草などでふいた。



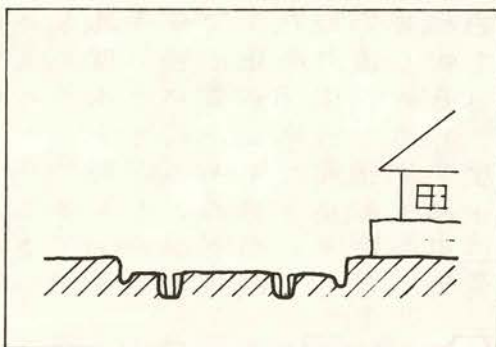
3 地震や洪水などで人々が住まなくなり、廃墟となる。柱などは腐、てしまう。



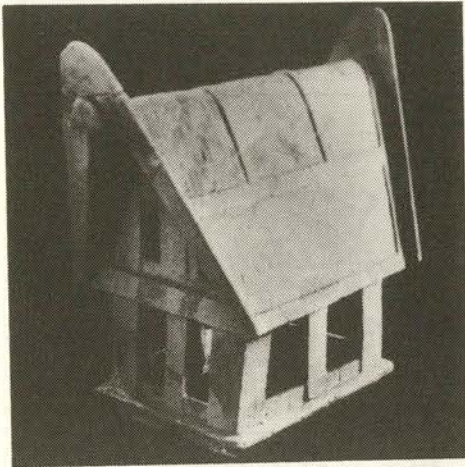
4 住居跡に土砂が流れ込み堆積していく。(土砂は地山とは異なる色の土である。)



5 耕作などで遺物が地表に現われ、その下に遺跡があることが考えられる。



6 発掘調査により、遺跡が検出され、遺構や遺物から当時の人々の生活がわかる。



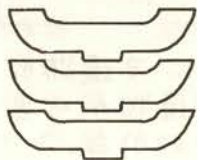
家形埴輪 奈良県宮山古墳出土 (5世紀前半)

埴輪は、墓に葬られる者に仕えていた従者や近親者を生きたまま埋めるといった「殉死」の代用として造られたとする説と、墳丘の土留め用に作る説がありますが、現在のところその起源や意義については明確な解答が出ていません。しかし、埴輪からは当時の風俗や生活様式をうかがうことができます。

市内には多くの古墳が知られていますが、とりわけ、龍門寺遺跡の南を東流する滑津川の上流域には、竹ノ下古墳、五里内古墳、牛転古墳群、久保ノ作古墳群、神谷作古墳群、沼ノ内古墳群などが群在しています。中でも、神谷作古墳群中の神谷作101号墳(仁科医院の敷地内造成工事中発見)には、天冠をつけた男子胡坐像(国指定重要文化財)をはじめ、多くの形象埴輪(人物・動物・武具・家)や円筒埴輪片が出土しています。およそ6世紀頃の古墳と考えられています。

読者の声 楽しい龍門寺遺跡の発掘 隼五小学校長 久間木秀雄

わが家から愛谷遺跡を遠望できる。愛谷遺跡を眺めながら家族でそこに住んだ古代人の生活や居住地としてのすばらしさを語ることもある。そんな会話の中でもう一度居住地を定めるならどんな所が良いか等を検討して、飯野の上、下荒川の草木川の北丘陵が理想ではないか等と話し合ったことがある。ところがそんな折に龍門寺遺跡発掘のニュースに接し、古代から現在まで何千年もの間そこに人々が住んでいたことを知り遺跡発掘に強い関心を引き起こされたのである。飯野は昔から生活が豊かで人々の心も温かいと聞いている。そのことはこの地の条件と人々の努力によって築かれて来た尊い歴史的遺産でもある。龍門寺遺跡の発掘が進み、飯野の歴史が解き明かされることを楽しみにしている。なぜならば、私達は古代から引き継がれてきた人々の有り方をもう一度深く考え、新しい時代を思索する礎にしたいと思うからである。



※ 数少ない文化遺産を大切にしよう!!

編集

財いわき市教育文化事業団

(電話)0246-24-2803

龍門寺遺跡調査係

とじておきましょう